

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

# 東京都感染症週報

2018年第15週  
(4月9日～4月15日)

- \* 2018年4月18日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- \* 今週は月報告(2018年3月)の疾患及び感染症豆知識「外国人と結核」も掲載しています。

平成30(2018)年4月19日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

## 全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2018年15週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		12週	13週	14週	15週	年累計	15週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	56	72	70	49	908	296	5,761
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 <sup>*1</sup>							
	中東呼吸器症候群 <sup>*2</sup>							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
鳥インフルエンザ(H7N9)								
三類	コレラ							2
	細菌性赤痢		2			15	3	56
	腸管出血性大腸菌感染症		2	4	3	20	13	187
	腸チフス					3		15
	パラチフス					3		5
四類	E型肝炎	1		3	3	23	11	100
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	10	7	9	8	89	14	174
	エキノコックス症							1
	黄熱							
	オウム病							1
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							1
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	ジカウイルス感染症							
	重症熱性血小板減少症候群 <sup>*3</sup>						1	4
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							
つつが虫病					4	2	43	
デング熱		2	1		15		29	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

\*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

\*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		12週	13週	14週	15週	年累計	15週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						1	5
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症					1		2
	マラリア	1				1	1	12
	野兔病							
	ライム病							
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症				1	22	10	285
レプトスピラ症								
ロッキー山紅斑熱								

2018/4/18集計

( 全数把握対象疾患のコメント・一類～五類 )

〈二類感染症〉

**結核 49件** 患者および死亡後診断 29件(肺結核 21件、その他の結核 7件、肺結核及びその他の結核 1件)、無症状病原体保有者 17件、疑似症 3件、年齢は5歳未満 2件、20代 8件、30代 2件、40代 4件、50代 7件、60代 7件、70代 4件、80代 10件、90歳以上 5件、推定感染地は国内 35件、フィリピン 1件、不明 13件であった。

〈三類感染症〉

**腸管出血性大腸菌感染症 3件** 患者 2件、無症状病原体保有者 1件、血清型・毒素型はO26 VT1 1件、O157 VT1・VT2 1件、O157 VT2 1件、年齢は20代 2件、40代 1件、推定感染地は国内 2件、不明 1件、推定感染経路は経口感染 1件、不明 2件であった。

〈四類感染症〉

**E型肝炎 3件** 患者 3件、年齢は30代 1件、60代 2件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は経口感染 2件、不明 1件であった。

**A型肝炎 8件** 患者 8件、年齢は20代 2件、30代 4件、40代 2件、推定感染地は国内 6件、香港 1件、不明 1件、推定感染経路は同性間性的接触 4件、経口感染 2件、同性間性的接触又は経口感染 1件、両性間性的接触又は経口感染 1件、A型肝炎ワクチン接種歴は無し 3件、不明 5件であった。

**レジオネラ症 1件** 病型は肺炎型、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 3件** 病型は腸管 3件、年齢は20代 1件、50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 2件、フィリピン 1件、推定感染経路は性別不明性的接触 2件、不明 1件であった。

**ウイルス性肝炎 1件** B型、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は同性間性的接触、B型肝炎ワクチン接種歴は無しであった。

※ 第13週該当分として〔四類〕A型肝炎 1件、デング熱 1件の追加報告があった。

※ 第14週該当分として〔四類〕A型肝炎 1件の追加報告があった。

## 全数把握対象疾患 報告数（五類） 2018年15週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		12週	13週	14週	15週	年累計	15週	年累計
五 類 ( 全 数 届 出 )	アメーバ赤痢	2	6	3	3	44	10	222
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)				1	8	1	41
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	1	6	6	41	25	444
	急性脳炎 *1	3	2	1		28	2	265
	クリプトスポリジウム症					1		6
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	5	1	55
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	2	1	3	35	16	246
	後天性免疫不全症候群	6	6	7	9	108	10	330
	ジアルジア症	1	2	1		8	2	24
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1		1		6	8	140
	侵襲性髄膜炎菌感染症		1	1		4		14
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	11	10	7	143	51	1,154
	水痘(入院例に限る)	4			1	12	6	98
	先天性風しん症候群							
	梅毒	36	24	29	18	427	89	1,675
	播種性クリプトコックス症	1	1			8	2	45
	破傷風	1				1	2	18
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					1		13
	百日咳 *2	5	7	12	6	94	40	910
風しん						2	8	
麻しん			1	3	5	18	67	
薬剤耐性アシネトバクター感染症		1			1		4	
2018/4/18集計								

\*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

\*2 2018年1月1日より追加指定された。

**カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 6件** 患者 6件、病原菌はエンテロバクター・アエロゲネス 1件、エンテロバクター・クロアカ 4件、クレブシエラ・オキシトカ 1件、年齢は10代 1件、50代 2件、70代 1件、80代 2件、推定感染地は国内 6件、推定感染経路は医療器具関連感染 1件(尿路カテーテル)、以前からの保菌 1件、不明 4件、90日以内の海外渡航歴は無し 6件であった。

**クロイツフェルト・ヤコブ病 1件** 古典型CJD、年齢は70代であった。

**劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3件** 血清群はA群 2件、B群 1件、年齢は20代 1件、60代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、アイルランド 1件、推定感染経路は創傷感染 1件、飛沫・飛沫核感染 1件、不明 1件であった。20代および80代の患者は死亡が確認された。

**後天性免疫不全症候群 9件** 無症候キャリア 6件、その他 3件、性別は男性 9件、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 5件、30代 2件、40代 2件、推定感染地は国内 8件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 9件(同性間 7件、異性間 2件)であった。

**侵襲性肺炎球菌感染症 7件** 血清型はすべて検査未実施、年齢は40代 1件、60代 3件、70代 2件、80代 1件、推定感染地は国内 6件、不明 1件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 2件、不明 5件、肺炎球菌ワクチン接種歴は23価1回接種済み 1件、無し 4件、不明 2件であった。

**水痘(入院例) 1件** 検査診断例、年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、水痘ワクチン接種歴は不明であった。

**梅毒 18件** 患者 14件(早期顕症梅毒Ⅰ期 5件、早期顕症梅毒Ⅱ期 9件)、無症候梅毒 4件、性別は男性 11件、女性 7件、年齢は10代 1件、20代 3件、30代 6件、40代 6件、50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 17件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 18件(同性間 5件、異性間 9件、性別不明 4件)であった。

**百日咳 6件** 年齢は10歳未満 2件、10代 2件、20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 5件、不明 1件、推定感染経路は家族内感染 1件、不明 5件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回接種済み 3件、3回接種済み 1件、不明 2件であった。

**麻しん 3件** 検査診断例 3件、遺伝子型はD8 2件、不明 1件、年齢は20代 1件、30代 2件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は接触感染 1件、不明 2件、麻しん含有ワクチン接種歴は接種無し 1件、不明 2件であった。

※ 第12週該当分として〔五類〕梅毒 1件の追加報告があった。

※ 第13週該当分として〔五類〕ジアルジア症 1件、侵襲性肺炎球菌感染症 1件、梅毒 1件の追加報告があった。

※ 第14週該当分として〔五類〕カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件、梅毒 3件の追加報告があった。

# 定点把握対象疾患 報告数 2018年15週

上段: 報告数  
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2018年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数			
		12週	13週	14週	15週					
小児科	RSウイルス感染症	77 0.29	68 0.26	54 0.21	90 0.34	261	264			
	咽頭結膜熱	42 0.16	51 0.20	27 0.10	58 0.22					
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	588 2.24	553 2.12	481 1.86	617 2.36					
	感染性胃腸炎	1,179 4.50	1,184 4.54	1,215 4.71	1,368 5.24					
	水痘	65 0.25	84 0.32	80 0.31	74 0.28					
	手足口病	17 0.06	9 0.03	14 0.05	15 0.06					
	伝染性紅斑	24 0.09	48 0.18	60 0.23	66 0.25					
	突発性発しん	119 0.45	123 0.47	118 0.46	140 0.54					
	ヘルパンギーナ	1 0.00	1 0.00	5 0.02	3 0.01					
	流行性耳下腺炎	14 0.05	14 0.05	19 0.07	19 0.07					
	川崎病 <sup>*1</sup>	4 0.02	2 0.01	5 0.02	12 0.05					
	不明発しん症 <sup>*1</sup>	9 0.03	8 0.03	5 0.02	12 0.05					
	インフル エンザ	インフルエンザ <sup>*2</sup>	1,204 2.92	788 1.90	452 1.10			358 0.86	415	419
			眼科	急性出血性結膜炎	1 0.03					
	流行性角結膜炎	6 0.16	8 0.21	20 0.53	21 0.55					
基幹	細菌性髄膜炎 <sup>*3</sup>		1 0.04			25	25			
		無菌性髄膜炎	1 0.04	1 0.04	2 0.08					
	マイコプラズマ肺炎	1 0.04	3 0.12	5 0.20						
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1 0.04	1 0.04	2 0.08					
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) <sup>*4</sup>	12 0.48	7 0.28	3 0.12	7 0.28					
		インフルエンザ入院	8 0.32	11 0.44	6 0.24			7 0.28		

2018/4/18集計

\*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

\*2 鳥インフルエンザを除く。

\*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

\*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

\* 百日咳は2018年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更

## ( 今週の注目される定点把握対象疾患 )

- ・ 伝染性紅斑は例年並みのレベルですが一部の地域で定点報告数の増加が見られています。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2018年15週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
～5か月	5			20				2			
6～11か月	20	5	4	86	1	2	4	39			2
1歳	38	13	14	194	5	3	1	69	2		3
2歳	15	7	43	152	4	2	9	22		1	2
3歳	6	7	64	111	7	3	11	4		3	4
4歳	3	5	104	138	6	1	8	3		4	
5歳	2	10	90	109	8	1	12			6	1
6歳		2	64	79	5	1	6			3	
7歳		2	73	78	10	1	5	1		1	
8歳		2	47	63	9		5			1	
9歳			34	52	5	1	3				
10～14歳		3	47	118	11		2				
15～19歳			8	17	1						
20～29歳	1	2	25	151	2				1		
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	90	58	617	1,368	74	15	66	140	3	19	12
先週比	36	31	136	153	-6	1	6	22	-2		7

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出 血性結 膜炎	急性出血 性結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月		1								
6～11か月	3	4							2	
1歳	2	19		2					2	1
2歳	1	22								
3歳	1	24							1	2
4歳	1	17								
5歳	1	17							1	
6歳	1	9								
7歳		8								
8歳	1	8								
9歳	1	4								
10～14歳		28								
15～19歳		28		2						
20～29歳		43		2						
30～39歳		40		2					1	
40～49歳		40		6						
50～59歳		26		6						
60～69歳		5		1						
70～79歳		6								
80歳以上		9								4
合計	12	358		21					7	7
先週比	7	-94		1		-2	-5	-2	4	1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2018年15週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田				1.67							
中央区			2.00	10.33	0.33	0.33					
みなと	1.17		1.83	3.50			0.17	0.50			0.33
新宿区	0.75	0.88	1.00	4.50				0.63		0.13	0.25
文京	0.25		2.00	4.25	0.75			0.75			0.25
台東	0.25	0.25	4.50	7.25	0.25	0.50	0.25	1.25		0.25	
墨田区	0.40	0.20	1.60	1.20						0.20	
江東区	0.11	0.11	3.56	9.67	0.22		0.11	0.56			0.11
品川区	0.25	0.25	1.13	4.63	0.13	0.13	0.13	0.38		0.13	
目黒区	0.60	0.40	2.20	7.60	0.20		0.60	0.40			0.20
大田区	0.69	0.62	2.62	7.23	0.69		0.15	0.62		0.23	0.08
世田谷	0.25	0.13	2.38	6.19	0.25	0.06	0.69	0.69			
渋谷区	0.25		0.25	4.75			0.25	0.25			
中野区	0.17	0.17	4.50	7.67	0.50			0.50		0.17	
杉並			1.30	3.80	0.30		0.40	0.50		0.10	0.10
池袋	0.75		1.75	2.25				0.25			0.25
北区	0.14		0.14	2.43	0.29		0.14	0.57			
荒川区	3.00	0.50	5.00	5.00	0.25		1.50	1.25			
板橋区		0.10	1.40	2.80	0.40			0.40		0.10	
練馬区	0.08	0.23	4.54	3.69	0.15		0.46	0.85	0.08	0.08	0.08
足立	0.38	0.08	0.69	5.08	0.62	0.08	0.15	0.46			
葛飾区		0.13	0.88	8.38	0.25	0.25	0.13	0.75			
江戸川	0.25	0.67	2.00	4.00	0.33	0.08	0.17	0.67	0.08	0.17	
八王子市	0.27	0.45	3.73	9.64	0.27		0.27	0.45			
町田市		0.25	3.50	7.88	0.25	0.25	0.63	0.50		0.13	
西多摩		0.38	2.75	3.50	0.25	0.13		0.63		0.13	
南多摩	0.67		1.33	3.44	0.11		0.44	0.11	0.11	0.11	
多摩立川	0.07	0.07	1.29	2.07	0.36		0.14	0.21		0.07	
多摩府中	0.60	0.25	2.40	4.40	0.20	0.10	0.25	0.65		0.10	0.05
多摩小平	0.33	0.07	5.47	7.80	0.40	0.07	0.27	0.67			
島しょ			1.00								
東京都	0.34	0.22	2.36	5.24	0.28	0.06	0.25	0.54	0.01	0.07	0.05

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		0.25								
中央区		1.20								
みなと		0.89								
新宿区	0.13	1.17								0.50
文京		0.14		1.00						
台東	0.25	0.57								
墨田区		1.00								
江東区		0.86								
品川区		0.25								
目黒区		0.75								
大田区		0.76								
世田谷	0.25	0.92		1.50					0.50	
渋谷区		0.43		2.00					1.00	
中野区		1.00		2.00						
杉並		1.13							0.50	1.00
池袋		0.57								
北区		0.45								
荒川区		0.57								
板橋区	0.10	0.63		1.00					2.00	
練馬区	0.08	0.67								
足立		1.15		1.00						
葛飾区		0.62		1.00					1.00	1.00
江戸川		1.05								
八王子市		1.22		2.00						
町田市		0.83								
西多摩		1.21								
南多摩		1.29								
多摩立川	0.14	0.62								
多摩府中	0.10	0.97		1.33					0.33	0.33
多摩小平		1.13								1.00
島しょ										
東京都	0.05	0.86		0.55					0.28	0.28



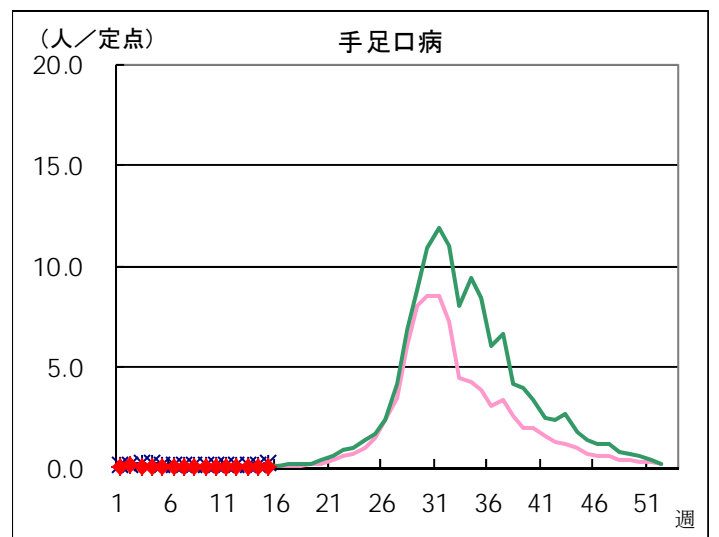
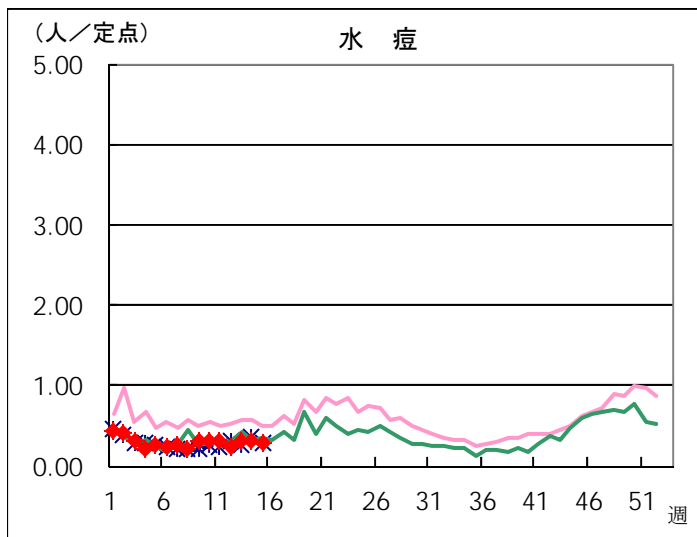
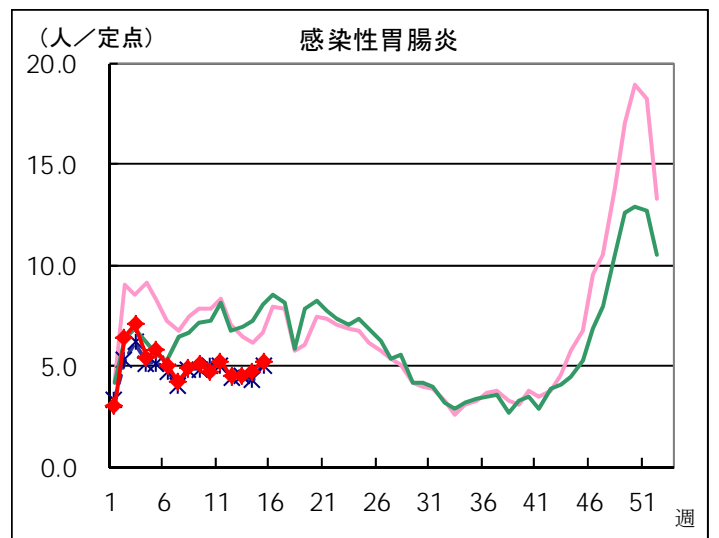
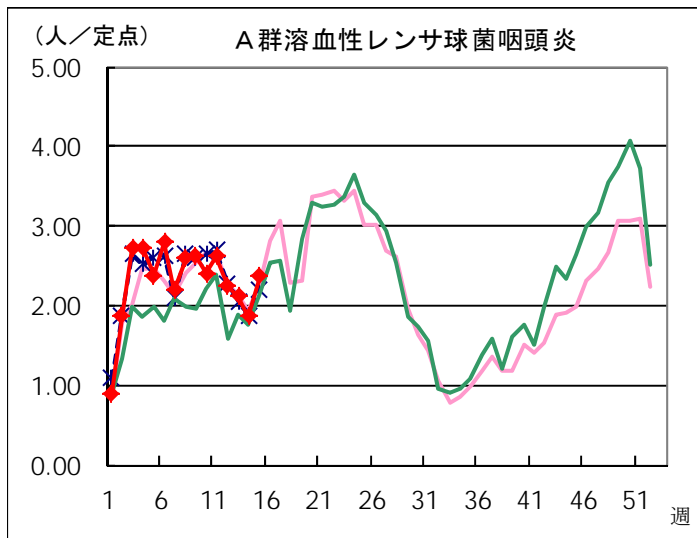
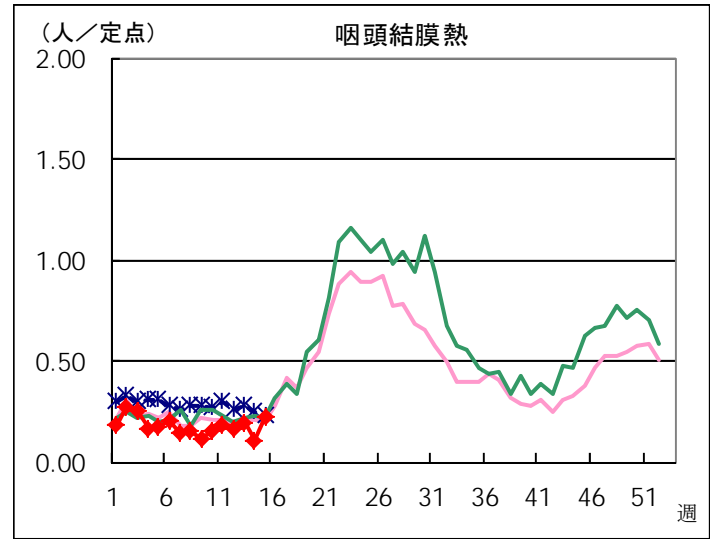
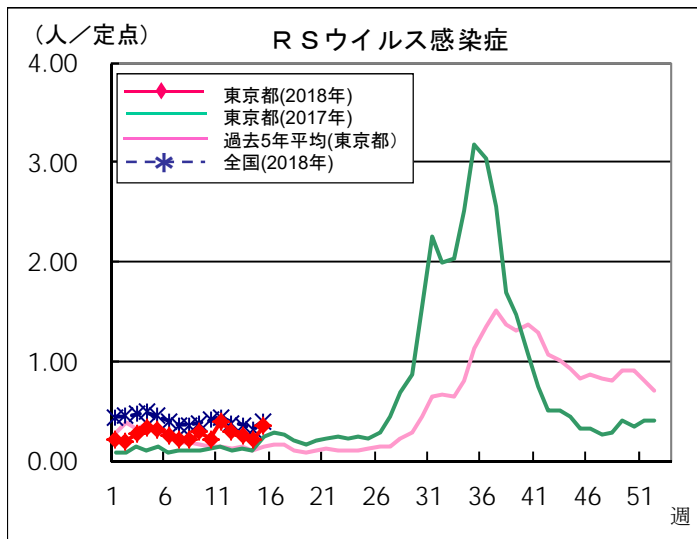
## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2018年15週

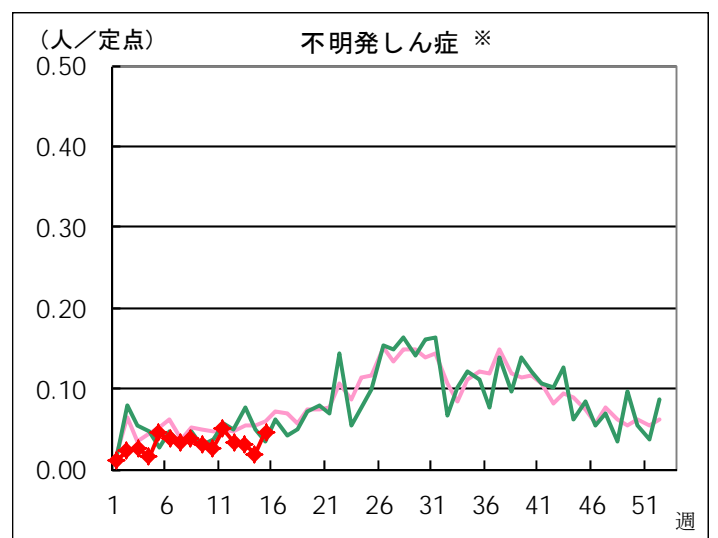
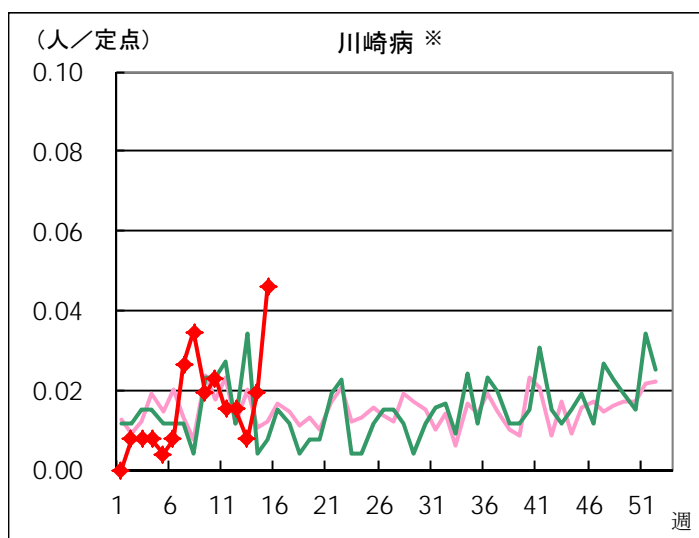
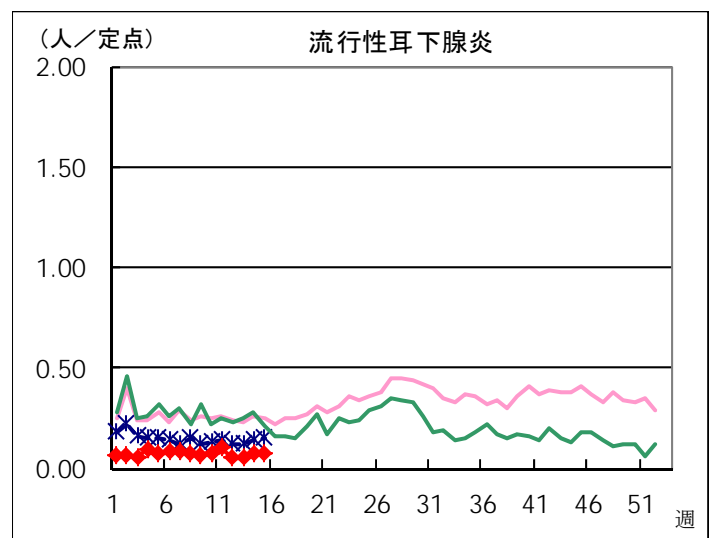
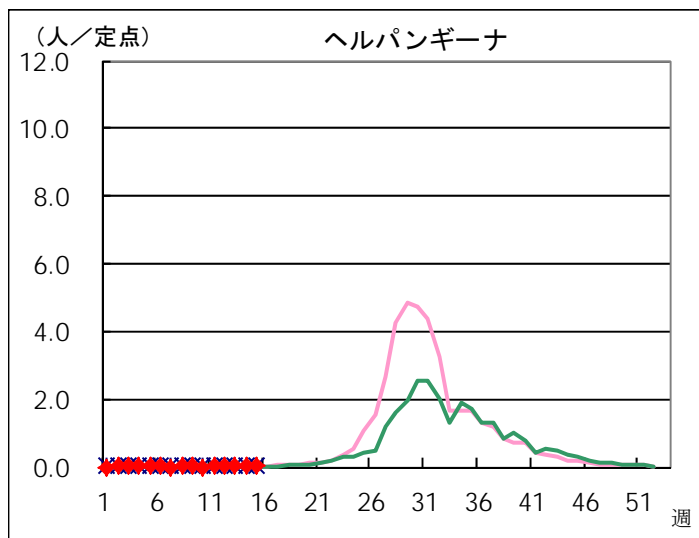
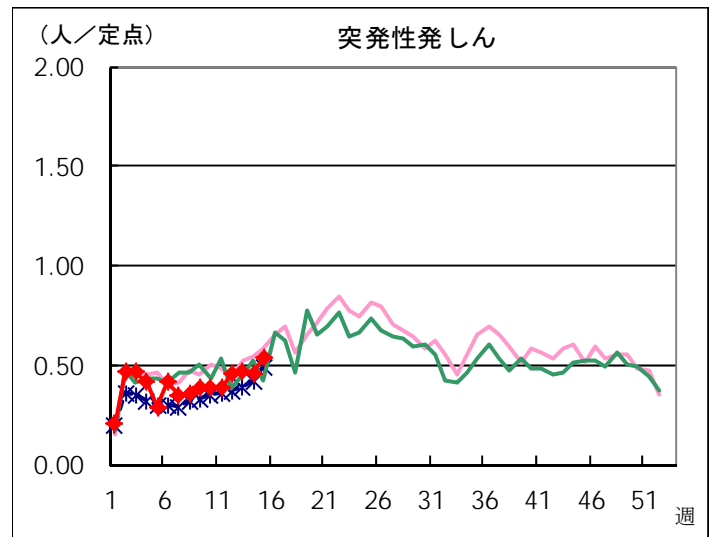
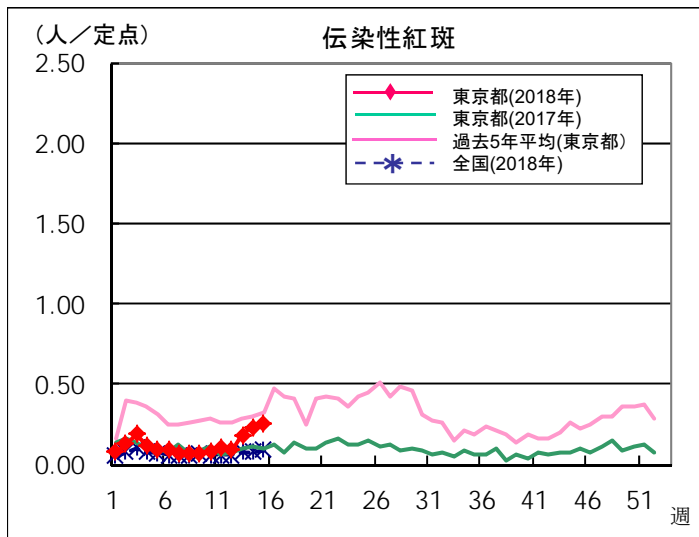
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田				5							
中央区			6	31	1	1					
みなと	7		11	21			1	3			2
新宿区	6	7	8	36				5		1	2
文京	1		8	17	3			3			1
台東	1	1	18	29	1	2	1	5		1	
墨田区	2	1	8	6						1	
江東区	1	1	32	87	2		1	5			1
品川区	2	2	9	37	1	1	1	3		1	
目黒区	3	2	11	38	1		3	2			1
大田区	9	8	34	94	9		2	8		3	1
世田谷	4	2	38	99	4	1	11	11			
渋谷区	1		1	19			1	1			
中野区	1	1	27	46	3			3		1	
杉並			13	38	3		4	5		1	1
池袋	3		7	9				1			1
北区	1		1	17	2		1	4			
荒川区	12	2	20	20	1		6	5			
板橋区		1	14	28	4			4		1	
練馬区	1	3	59	48	2		6	11	1	1	1
足立	5	1	9	66	8	1	2	6			
葛飾区		1	7	67	2	2	1	6			
江戸川	3	8	24	48	4	1	2	8	1	2	
八王子市	3	5	41	106	3		3	5			
町田市		2	28	63	2	2	5	4		1	
西多摩		3	22	28	2	1		5		1	
南多摩	6		12	31	1		4	1	1	1	
多摩立川	1	1	18	29	5		2	3		1	
多摩府中	12	5	48	88	4	2	5	13		2	1
多摩小平	5	1	82	117	6	1	4	10			
島しょ			1								
東京都合計	90	58	617	1,368	74	15	66	140	3	19	12

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		1								
中央区		6								
みなと		8								
新宿区	1	14								1
文京		1		1						
台東	1	4								
墨田区		8								
江東区		12								
品川区		3								
目黒区		6								
大田区		16								
世田谷	4	23		3					1	
渋谷区		3		2					1	
中野区		10		2						
杉並		18							1	2
池袋		4								
北区		5								
荒川区		4								
板橋区	1	10		2					2	
練馬区	1	14								
足立		23		2						
葛飾区		8		1					1	1
江戸川		20								
八王子市		22		4						
町田市		10								
西多摩		17								
南多摩		18								
多摩立川	2	13								
多摩府中	2	31		4					1	1
多摩小平		26								2
島しょ										
東京都合計	12	358		21					7	7

# 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2018年15週 現在)

## ◆ 小児科定点

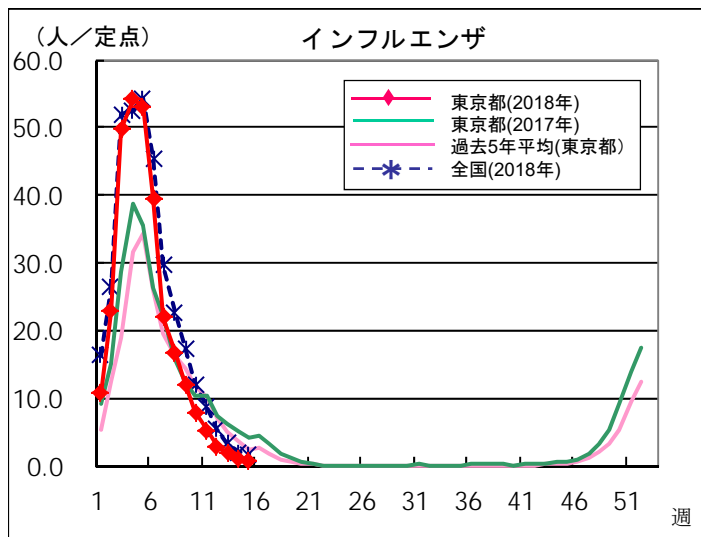




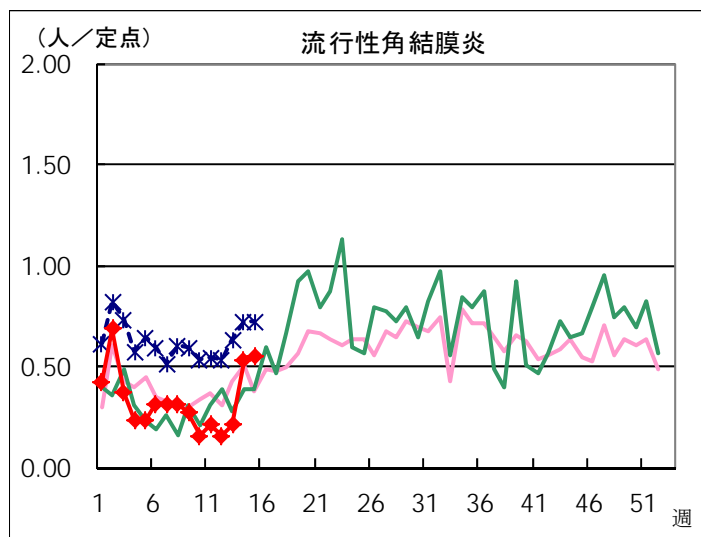
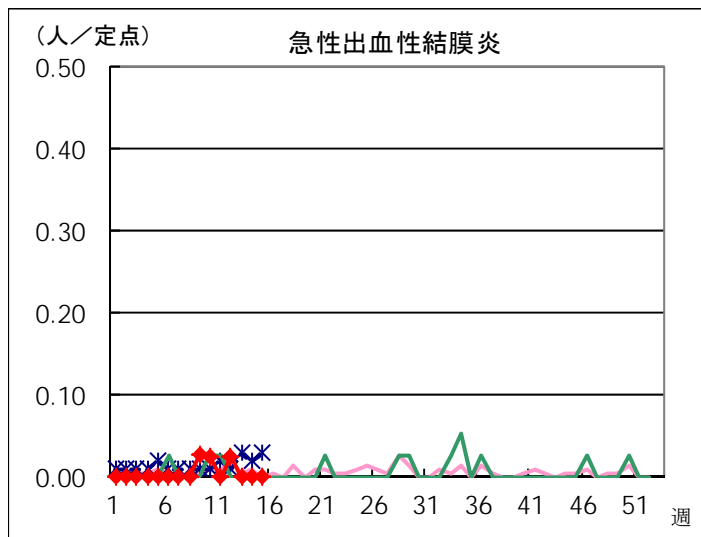
※ 東京都独自対象疾患

※ 東京都独自対象疾患

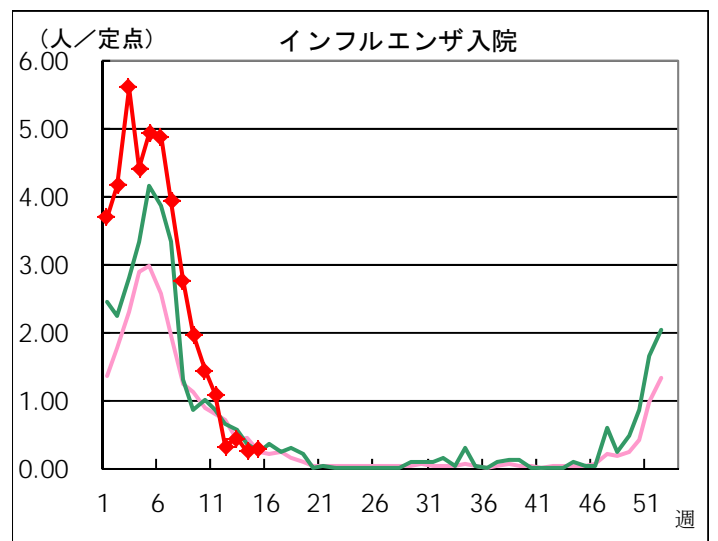
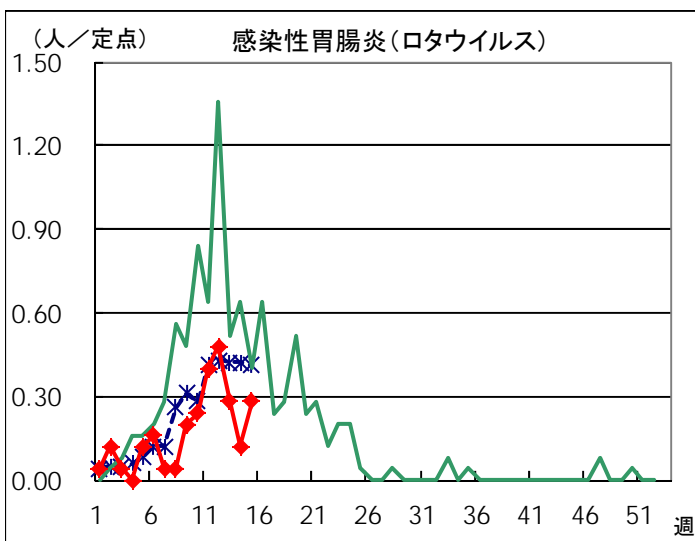
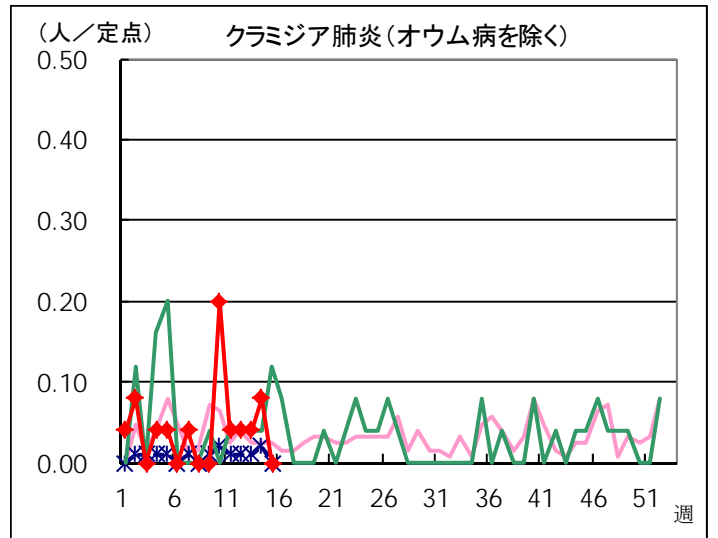
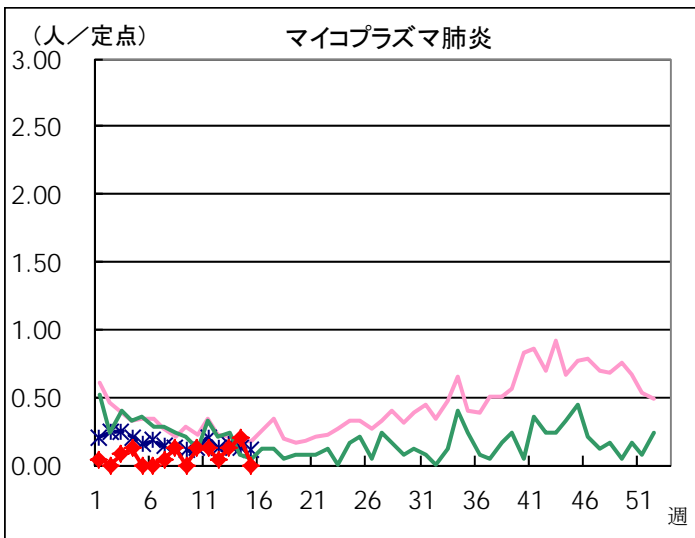
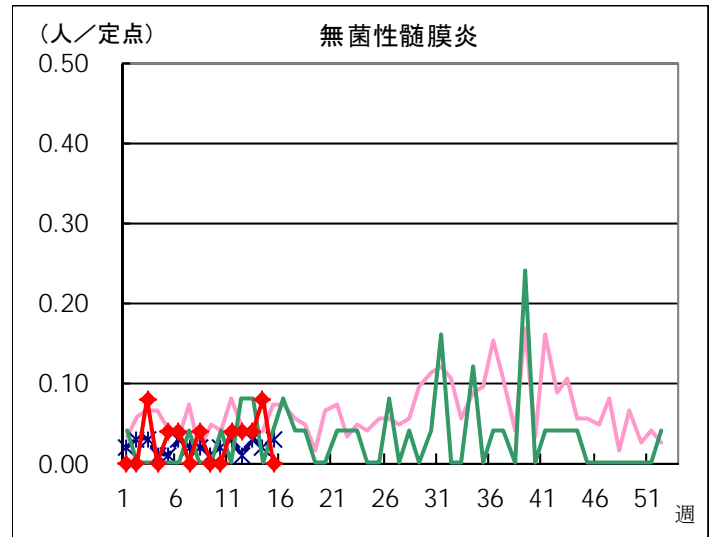
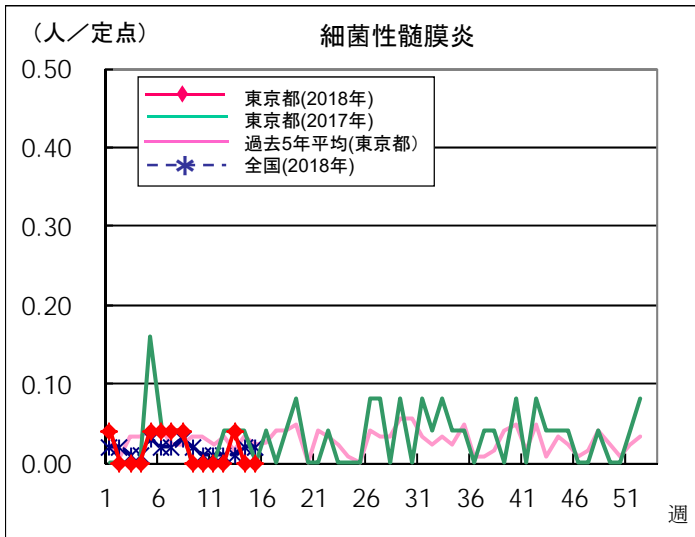
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



## 定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
3/11	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-B3264型
3/12	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T型別不能
3/12	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-B3264型
3/15	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌その他のT型
3/16	感染性胃腸炎	1	便	ノロウイルスG II
3/16	感染性胃腸炎	9	便	ノロウイルスG I
3/20	インフルエンザ	9	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型※ ライノウイルス
3/20	感染性胃腸炎	2	直腸拭い液	A群ロタウイルス
3/23	感染性胃腸炎	3	直腸拭い液	ノロウイルスG II
3/24	咽頭結膜熱	3	咽頭拭い液	アデノウイルス5型
3/24	感染性胃腸炎	6	便	A群ロタウイルス
3/25	感染性胃腸炎	3	便	A群ロタウイルス
3/27	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型

※ 下記「遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数」の集計数に含まれる。

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH1亜型	AH3亜型	B型
2018年12週			5	7
2017-2018年 シーズン累計*	104		158	246

\* 2017-2018年シーズンの開始は第36週(2017年9月4日～)

## 病原体検出情報【週別】

検出病原体	2018年							
	06週	07週	08週	09週	10週	11週	12週	13週
アデノウイルス	1	2	1		1	1	2	1
コクサッキーウイルスA群								
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス	1				1			
ライノウイルス	2	2		2		2	3	
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス				1				
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	2	1				3	3	1
EBウイルス								
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風疹ウイルス								
ヒトパルボウイルスB19								
RSウイルス							1	
ノロウイルス	1		1	1			2	1
ロタウイルス			1		1		2	2
サポウイルス					2			
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型	14	9	4	11	12	8	5	
インフルエンザウイルスB型	29	18	23	12	8	1	7	
インフルエンザウイルスAH1pdm09	3	2	1	2	1	2		
その他のウイルス								
A群溶血性レンサ球菌T-1型	1	1		1	2			
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型	1							
A群溶血性レンサ球菌T-12型		3	1	1	2			
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型				1				
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型	2			1	2		2	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型					1		1	
A群溶血性レンサ球菌T型別不能							1	
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								



# 病原体検出情報 【臨床診断名別】

2018年06週～2018年13週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	2	8	29	22	5	2	2	10		6	1	16	166	32		2		3	1	
アデノウイルス		3		2									2	1		1				
コクサッキーウイルスA群																				
コクサッキーウイルスB群																				
エコーウイルス																				
エンテロウイルス71																				
その他のエンテロウイルス													1	1						
ライノウイルス		1									1	1	3	5						
ヒトメタニューモウイルス																				
単純ヘルペスウイルス																				
水痘・帯状疱疹ウイルス					1															
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		1						3				6								
EBウイルス																				
サイトメガロウイルス																				
ムンプスウイルス																				
麻疹ウイルス																				
麻疹A型(ワクチンタイプ)																				
風疹ウイルス																				
ヒトパルボウイルスB19																				
RSウイルス	1																			
ノロウイルス				6																
ロタウイルス				6																
サポウイルス				2																
インフルエンザウイルスAH1亜型																				
インフルエンザウイルスAH3亜型													61	2						
インフルエンザウイルスB型													91	7						
インフルエンザウイルスAH1pdm09													9	2						
その他のウイルス																				
A群溶血性レンサ球菌T-1型			5																	
A群溶血性レンサ球菌T-3型																				
A群溶血性レンサ球菌T-4型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T-12型				7																
A群溶血性レンサ球菌T-25型																				
A群溶血性レンサ球菌T-28型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			7																	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型			2																	
A群溶血性レンサ球菌T型別不能			1																	
百日咳菌																				
肺炎マイコプラズマ																				
肺炎クラミジア																				
髄膜炎菌																				
B群レンサ球菌																				
肺炎球菌																				
インフルエンザ菌																				
黄色ブドウ球菌																				
大腸菌																				
その他の細菌																				
その他の病原体																				

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2018年3月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり	合計	定点当たり	報告医療機関数	定点医療機関数
性感染症	性器クラミジア感染症	男	103	1.87	196	3.56	55	55
		女	93	1.69				
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	80	1.45	120	2.18		
		女	40	0.73				
	尖圭コンジローマ	男	70	1.27	95	1.73		
		女	25	0.45				
	淋菌感染症	男	67	1.22	93	1.69		
		女	26	0.47				
	膣トリコモナス症	男			13	0.24		
		女	13	0.24				
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	男	39	1.56	64	2.56	25	25
		女	25	1.00				
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	男	6	0.24	8	0.32		
		女	2	0.08				
	薬剤耐性緑膿菌感染症	男						
		女						
2018/4/13集計								

月報告 定点把握対象疾患(性感染症・基幹) 報告数【年齢階級別】2018年3月

< 男性 >

	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	膣トリコ モナス症	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症	薬剤耐性 緑膿菌感染症
0歳						5		
1～4歳						2		
5～9歳						2	1	
10～14歳						1	1	
15～19歳		1				2		
20～24歳	15	2	9	9		1		
25～29歳	21	7	12	11				
30～34歳	17	12	17	14		2		
35～39歳	12	12	8	7		1	1	
40～44歳	16	13	6	13		2		
45～49歳	8	9	6	10		2		
50～54歳	6	9	6	2				
55～59歳	6	7	4			2		
60～64歳		2				1		
65～69歳		2	1			2	2	
70歳～	2	4	1	1		14	1	
合 計	103	80	70	67		39	6	
先月比	13	26	22	5		-1	5	-1

< 女性 >

	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	膣トリコ モナス症	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症	薬剤耐性 緑膿菌感染症
0歳						3		
1～4歳								
5～9歳								
10～14歳						1		
15～19歳	4	1	2					
20～24歳	24	9	5	8	2			
25～29歳	20	10	5	5	4			
30～34歳	18	4	3	5	2			
35～39歳	10	8	5	2	1	1		
40～44歳	5	2	2	2	1			
45～49歳	9	3	2	2	2	2		
50～54歳		1	1		1	1		
55～59歳	2	2		1		1		
60～64歳	1			1				
65～69歳							1	
70歳～						16	1	
合 計	93	40	25	26	13	25	2	
先月比	9	27	9	2	6	4		

## 月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数 【保健所別】 2018年3月

＜ 男性 ＞

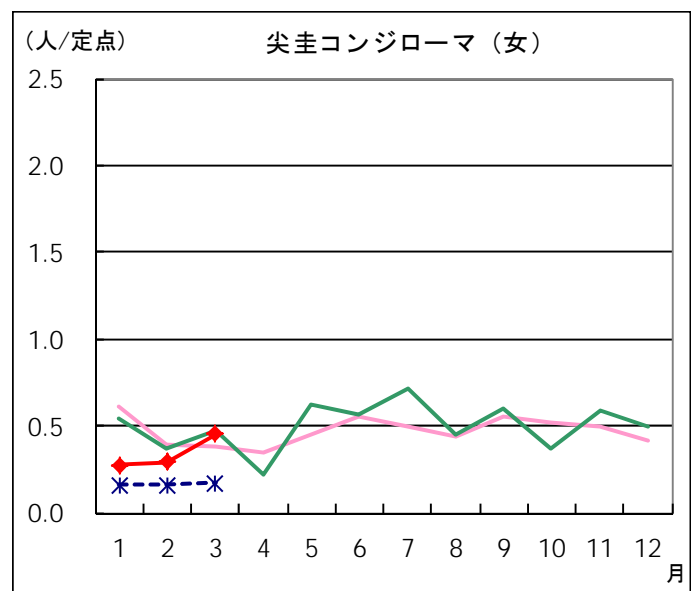
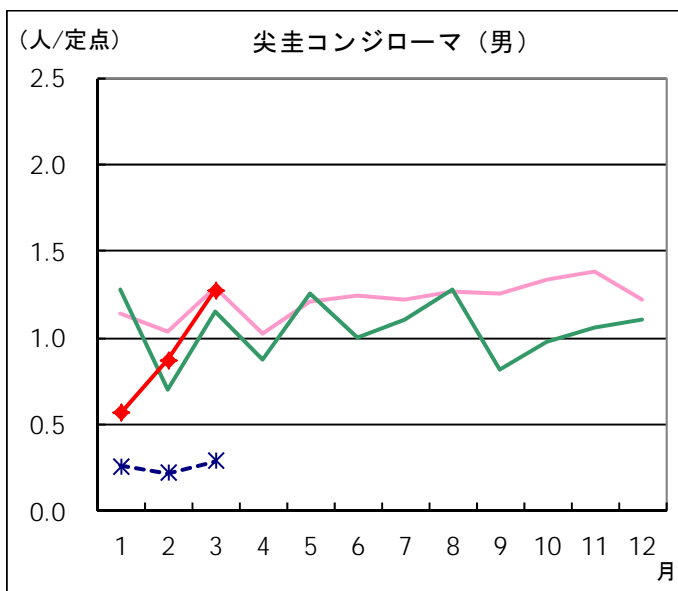
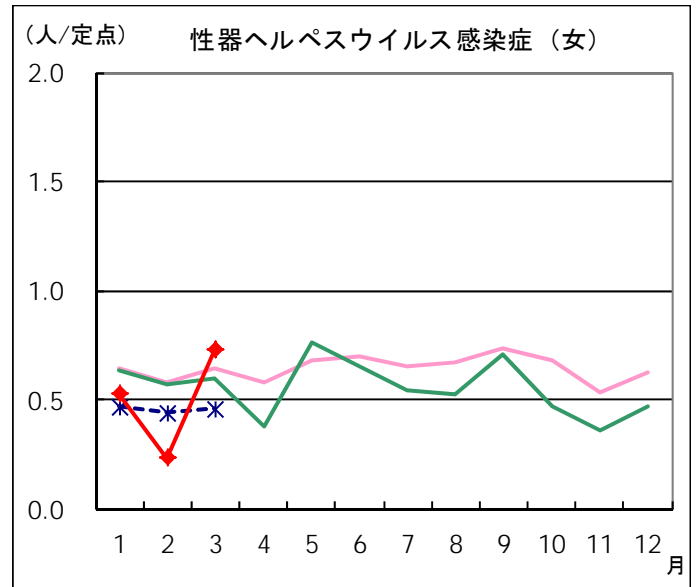
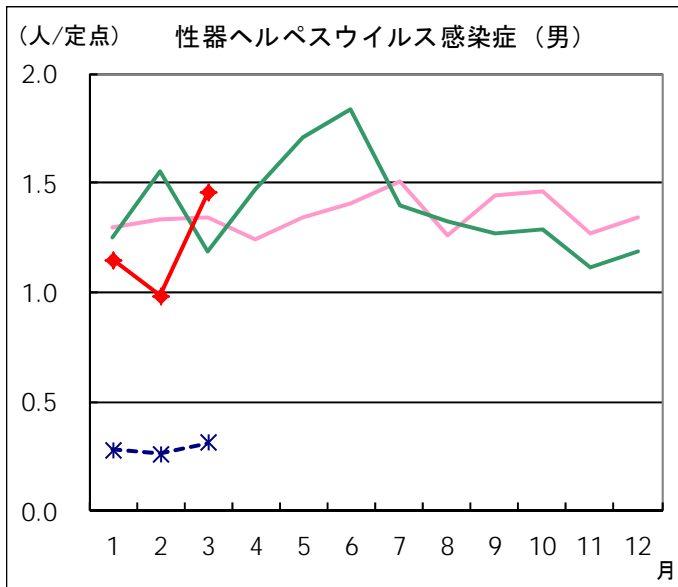
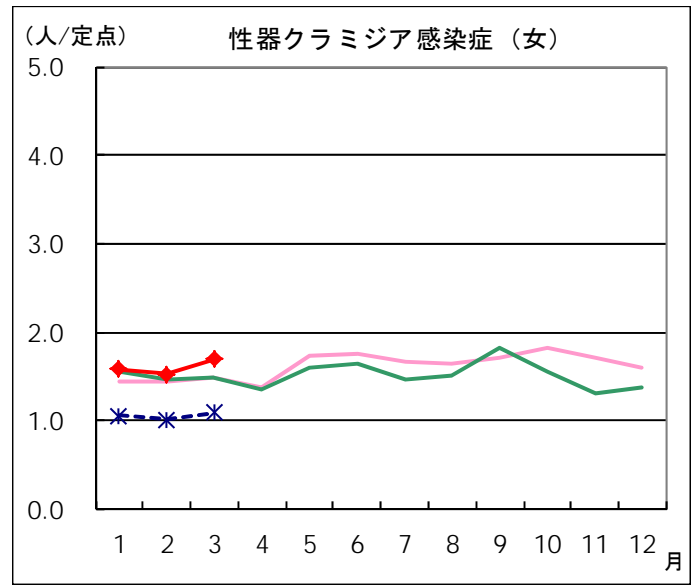
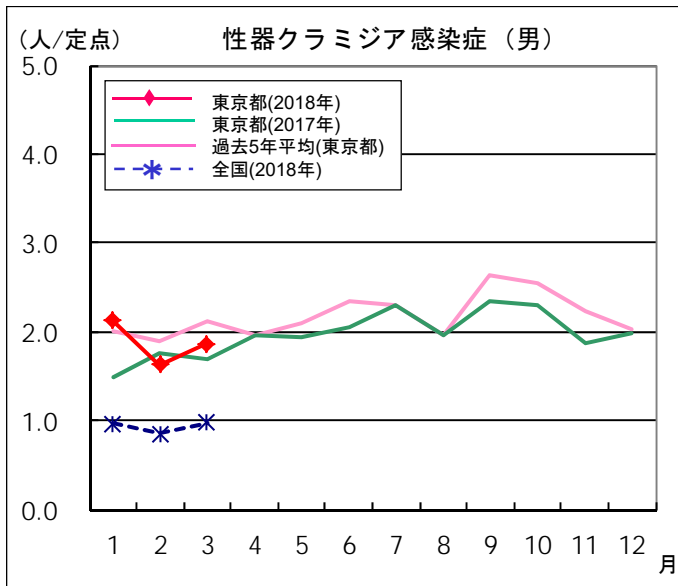
	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	総 計
千代田	2	13	3	2	2		20
中央区	3	8	4	2	5		19
みなと	2	9	41	4	6		60
新宿区	7	28	18	49	19		114
文京	1	5	1	2	3		11
台東	2				2		2
墨田区	2	1	1				2
江東区	2	7	1	2	6		16
品川区	1	2	2		2		6
大田区	2	1			1		2
渋谷区	5	7	7	3	4		21
中野区	2				1		1
杉並	2	6		1	2		9
池袋	3	11	2	2	6		21
北区	1			2			2
荒川区	1						
板橋区	2	1			4		5
足立	2	1					1
江戸川	2	3		1	4		8
八王子市	4						
町田市	1						
多摩立川	2						
多摩府中	3						
多摩小平	1						
合 計	55	103	80	70	67		320
定点当たり		1.87	1.45	1.27	1.22		5.82

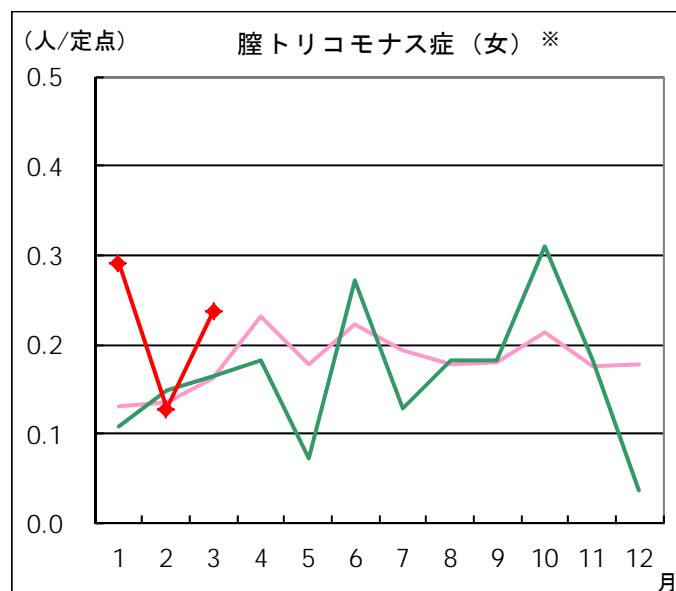
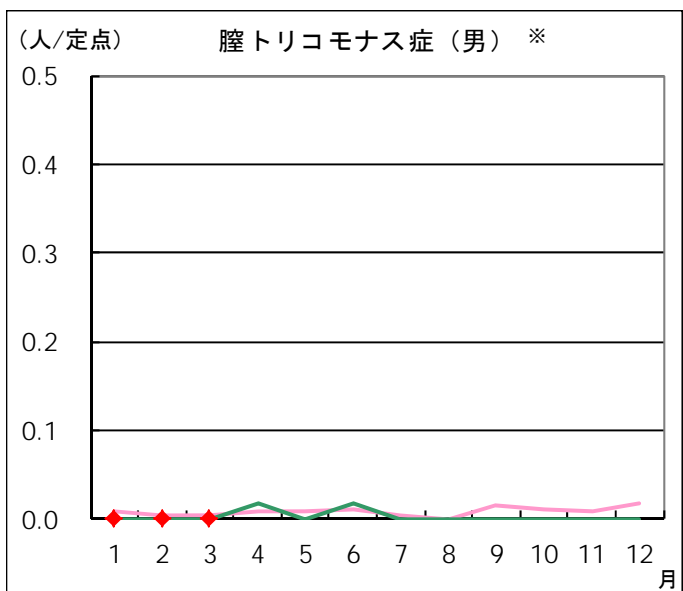
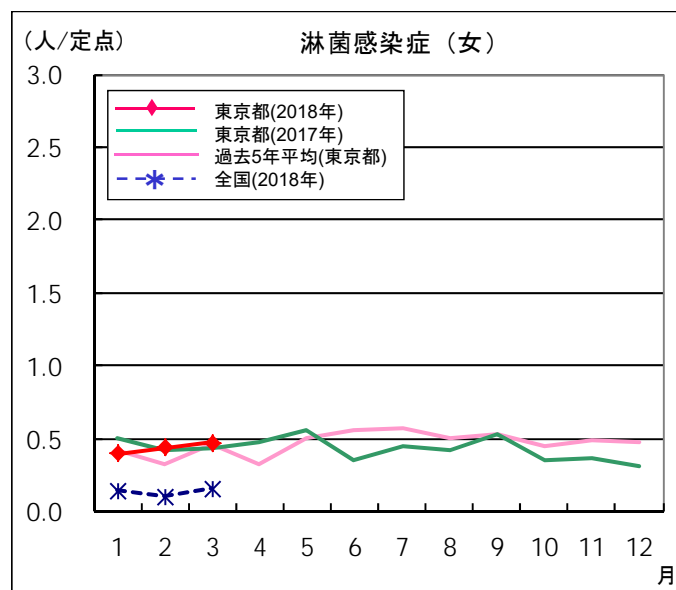
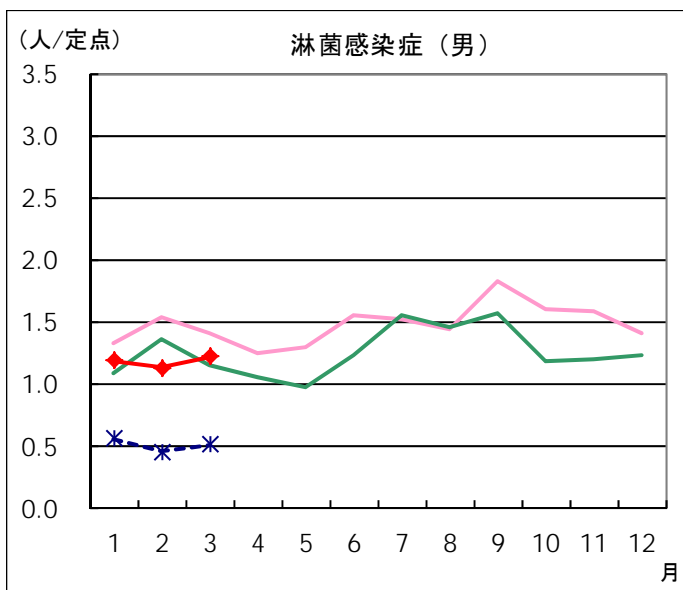
＜ 女性 ＞

	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	総 計
千代田	2	1					1
中央区	3	1				1	2
みなと	2	3	1				4
新宿区	7	11	16	17	1	1	46
文京	1						
台東	2	13	1	1	15	6	36
墨田区	2	1				1	2
江東区	2	3			2		5
品川区	1		1				1
大田区	2	4					4
渋谷区	5	8	6	2			16
中野区	2						
杉並	2	3					3
池袋	3	9	3	2			14
北区	1						
荒川区	1		1				1
板橋区	2	3			1		4
足立	2	4	2		2		8
江戸川	2	6	3	2		1	12
八王子市	4	5	3	1	1	2	12
町田市	1	4	2				6
多摩立川	2	14	1		4	1	20
多摩府中	3						
多摩小平	1						
合 計	55	93	40	25	26	13	197
定点当たり		1.69	0.73	0.45	0.47	0.24	3.58

# 月報告 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2018年3月 現在)

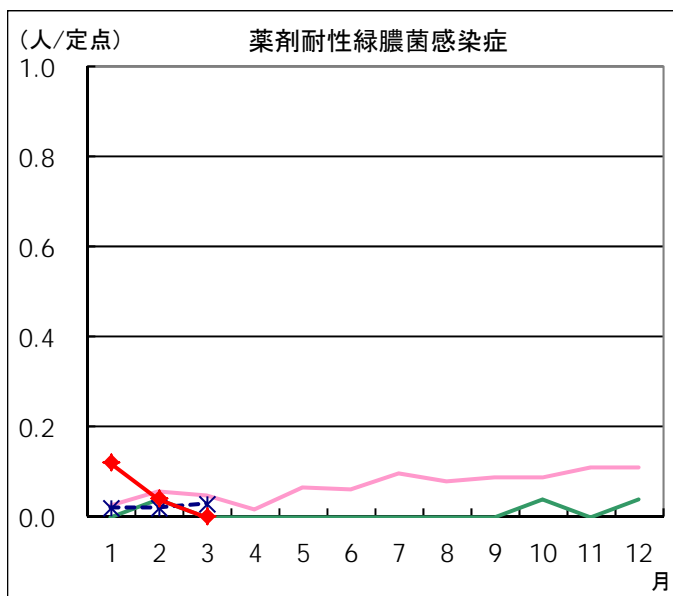
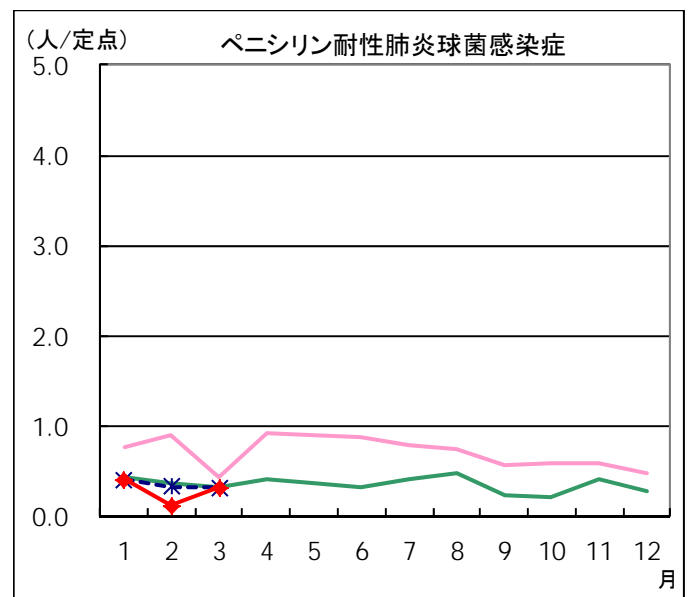
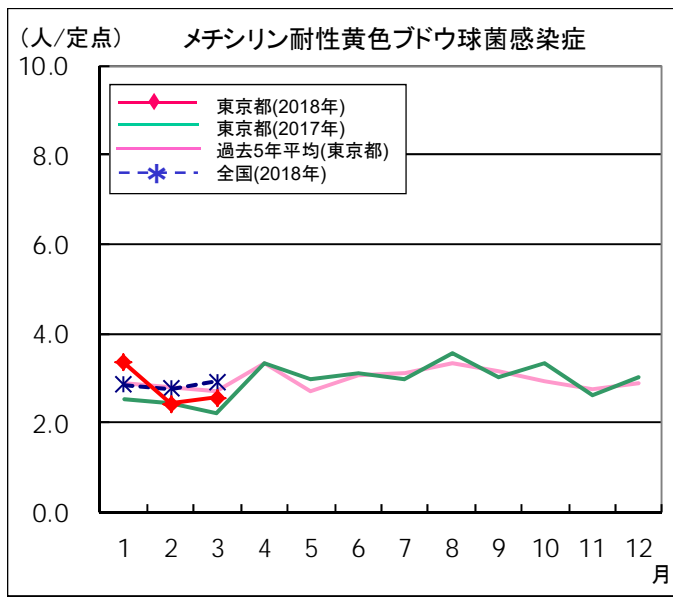
## ◆ 性感染症定点





※東京都独自対象疾患

◆ 基幹定点



## 定点医療機関から搬入された検体の検査情報(月報告)

採取日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体
2/6	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	8	女	耳漏	MRSAコアグララーゼⅢ型
2/13	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	86	男	血液	MRSAコアグララーゼⅦ型
2/19	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	87	女	血液	MRSAコアグララーゼⅦ型
2/21	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3	女	皮膚病巣	MRSAコアグララーゼⅢ型
2/21	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	73	男	記載なし	MRSAコアグララーゼⅦ型
2/21	尖圭コンジローマ	27	男	陰部擦過物	ヒトパピローマウイルス6型
2/26	尖圭コンジローマ	48	男	陰部擦過物	ヒトパピローマウイルス6型
3/2	尖圭コンジローマ	48	男	陰部擦過物	ヒトパピローマウイルス6型 ヒトパピローマウイルス(6,11,16,18型以外)
3/6	尖圭コンジローマ	56	女	記載なし	ヒトパピローマウイルス6型
3/15	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	女	咽頭拭い液	MRSAコアグララーゼⅢ型
3/19	尖圭コンジローマ	35	女	陰部擦過物	ヒトパピローマウイルス6型



## <感染症豆知識>

### 外国人と結核

欧米先進国は同時に結核低蔓延国だが、移民の増加によって各国とも自国生まれの結核患者数より外国生まれの患者数が上回る状態になっている。例えばオランダは、結核罹患率（人口10万対）が5.9という低蔓延国であるが、結核患者の75%は外国生まれである。日本は昭和20年代の結核罹患率が400を越える高蔓延状態を経て、平成28年には13.9まで低下して低蔓延国に近づいている。同年の外国生まれの患者は7.6%だが、20歳代に限れば約60%が外国生まれで更に増加傾向にある。

移民の受け入れのない日本で、外国生まれの若年者結核は、日本人と結婚した外国人や技能実習制度による入国者もいるが、大半は人手不足を背景に入国した留学生である。外国人留学生数は、平成25年に16万8000人だったが、4年後の29年は26万7000人と急増している。その大半（93.3%）はアジアからで、中国が最も多く10万7000人（40.2%）、次いでベトナム6万1000人（22.5%）、3番目のネパール2万1000人（8.1%）と、この3カ国で留学生の7割を占める。その推定結核罹患率は中国が64、ベトナムが133、ネパールが155といずれも高蔓延国である。

こうした留学生の受け入れ先となる日本語学校で、結核の集団感染事例が多発して20歳代の外国生まれの患者数を増加させている。つまり自国で結核に感染して、潜在性結核感染の状態日本で入国して、働きながら日本語を学ぼうちに、肺結核を発病して同じ日本語学校の留学生たちに感染・発病させているのである。日本語学校は、学校保健安全法に従う必要がなく、胸部健診が義務付けられないことも大きな問題である。

（文責 結核予防会複十字病院副院長 尾形英雄）